

(5) 死産

死産数は1,390胎で、前年より3胎減少した。

死産率は、出産千人(胎)に対し23.8で前年の23.4を0.4ポイント上回った。全国(23.4)を0.4ポイント上回っている。

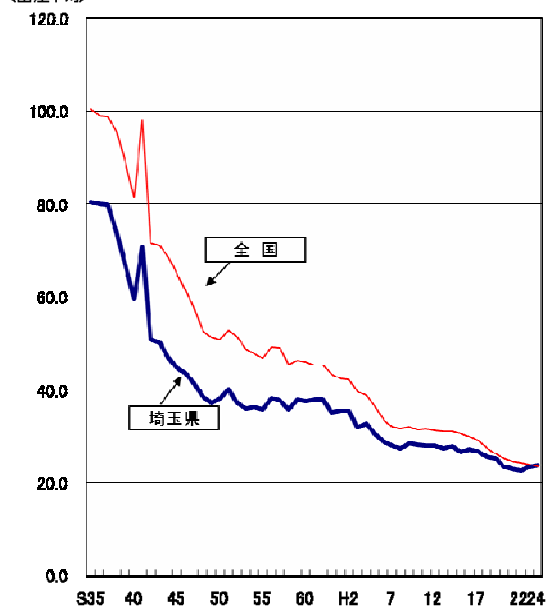
また、死産の内訳をみると、自然死産は693胎で前年より11胎減少し、人工死産は697胎で8胎増加した。

表－２２ 死産数及び死産率の年次推移

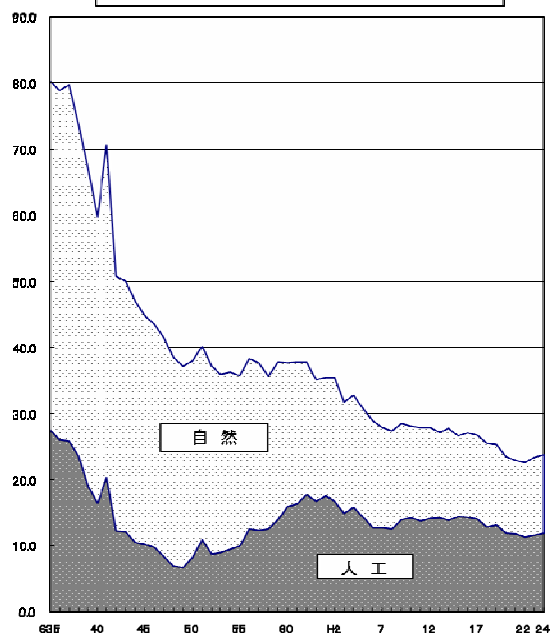
		S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	22	23	24
死産	数	埼玉県 3 794	4 237	4 277	3 795	2 792	2 630	2 324	1 944	1 907	1 637	1 375	1 393	1 390
		全国 179 281	161 617	135 085	101 862	77 446	69 009	53 892	39 403	38 393	31 818	26 560	25 751	24 800
	率	埼玉県 80.4	59.8	44.8	38.0	35.8	37.6	35.4	27.9	27.9	26.7	22.6	23.4	23.8
		全国 100.4	81.4	65.3	50.8	46.8	46.0	42.3	32.1	31.2	29.1	24.2	23.9	23.4
(自然)	数	埼玉県 2 491	3 077	3 307	2 976	2 021	1 521	1 226	1 057	941	780	690	704	693
		全国 93 424	94 476	84 073	67 643	47 651	33 114	23 383	18 262	16 200	13 502	12 245	11 940	11 448
	率	埼玉県 52.8	43.4	34.7	29.8	25.9	21.8	18.7	15.2	13.8	12.7	11.3	11.8	11.9
		全国 52.3	47.6	40.6	33.8	28.8	22.1	18.3	14.9	13.2	12.3	11.2	11.1	10.8
(人工)	数	埼玉県 1 303	1 160	970	819	771	1 109	1 098	887	966	857	685	689	697
		全国 85 857	67 141	51 022	34 219	29 795	35 895	30 509	21 141	22 193	18 316	14 315	13 811	13 352
	率	埼玉県 27.6	16.4	10.2	8.2	9.9	15.9	16.7	12.7	14.1	14.0	11.3	11.6	11.9
		全国 48.1	33.8	24.7	17.1	18.0	23.9	23.9	17.2	18.1	16.7	13.0	12.8	12.6

注 率は出産(出生+死産)千対

図－21 死産率の年次推移(埼玉県・全国)



図－22 死産率の年次推移(自然・人工)(埼玉県)



(6) 周産期死亡

周産期死亡数は249人(胎)で、前年より6人(胎)減少した。

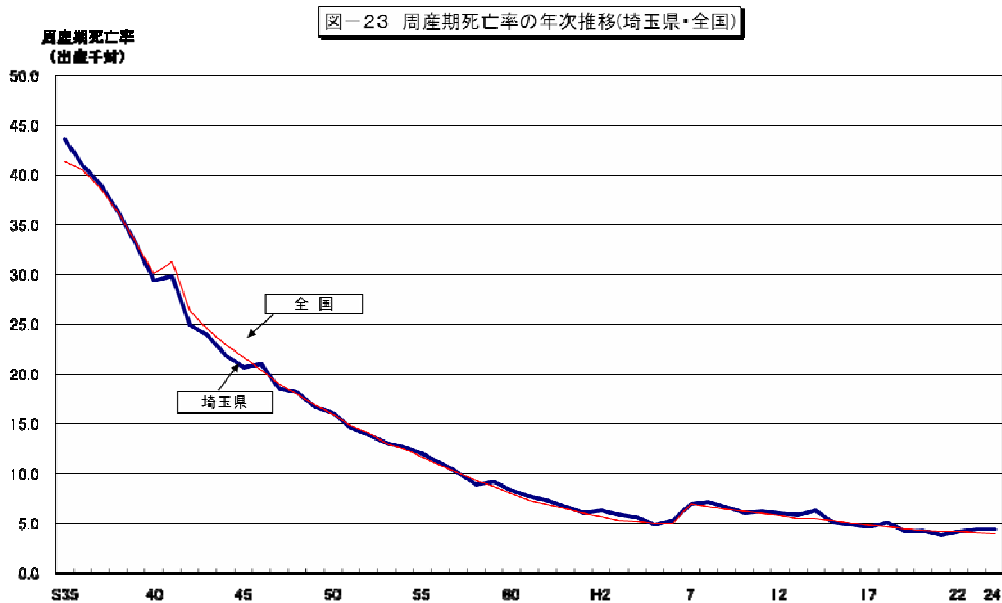
周産期死亡率は、出産千人(胎)に対し4.4で前年と同率となった。年次推移をみると、長期的に低下傾向にある。全国は4.0であった。

平成7年の上昇は、周産期死亡の定義が変わり、後期死産が「妊娠満28週以後」から「妊娠満22週以後」に改められたことに原因があるものと考えられる。

表－23 周産期死亡数及び周産期死亡率の年次推移

		S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	22	23	24
周産期死亡数	埼玉県	1 892	1 956	1 889	1 546	899	555	401	476	397	281	252	255	249
	全国	66 552	54 094	41 917	30 513	18 385	11 470	7 001	8 412	6 881	5 149	4 515	4 315	4 133
周産期死亡率	埼玉県	43.6	29.4	20.7	16.1	12.0	8.3	6.3	7.0	6.0	4.7	4.2	4.4	4.4
	全国	41.4	30.1	21.7	16.0	11.7	8.0	5.7	7.0	5.8	4.8	4.2	4.1	4.0
後期死産率	埼玉県	1 287	1 306	1 213	1 014	603	380	275	385	319	242	205	224	207
	全国	49 512	39 955	29 107	20 268	12 231	7 733	4 664	6 580	5 362	4 058	3 637	3 491	3 343
早期新生児死亡率	埼玉県	605	650	676	532	296	175	126	91	78	39	47	31	42
	全国	17 040	14 949	12 810	10 245	6 154	3 737	2 337	1 832	1 519	1 091	878	824	790
後期死産率	埼玉県	29.6	19.6	13.3	10.6	8.0	5.6	4.3	5.7	4.8	4.0	3.4	3.8	3.6
	全国	30.8	21.9	15.0	10.7	7.8	5.4	3.8	5.5	4.5	3.8	3.4	3.3	3.2
早期新生児死亡率	埼玉県	13.9	9.8	7.4	5.5	3.9	2.6	2.0	1.3	1.2	0.7	0.8	0.5	0.7
	全国	10.6	8.2	6.6	5.4	3.9	2.6	1.9	1.5	1.3	1.0	0.8	0.8	0.8

注 周産期死亡率・後期死産率は出産(出生+後期死産数)千対である。
早期新生児死亡率は出生千対である。



(7) 婚姻

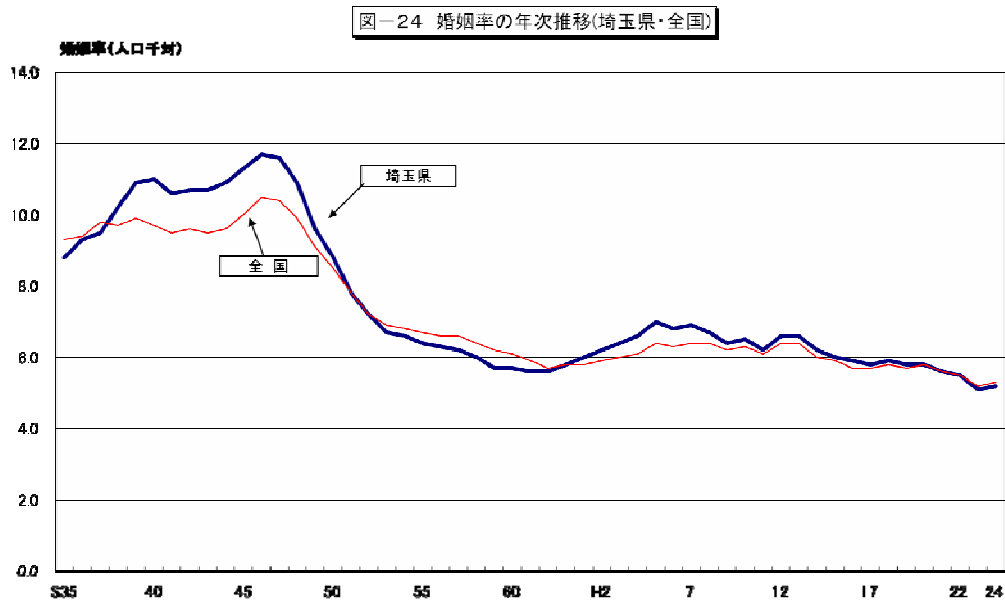
婚姻件数は36,776件で、前年の36,227件より549件増加した。

婚姻率は、人口千人に対し5.2で前年の5.1を0.1ポイント上回った。全国は5.3であった。

婚姻率の年次推移をみると、昭和46年の11.7をピークに低下し、昭和62年(5.6)をボトムに若干上昇したが、平成14年以降は低下傾向にある。

表－24 婚姻件数及び婚姻率の年次推移

	S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	22	23	24
数													
埼玉県	21 485	33 131	43 517	42 340	34 708	33 446	39 234	46 224	45 636	40 486	39 160	36 227	36 776
全国	866 115	954 852	1 029 405	941 628	744 702	735 850	722 138	791 888	798 138	714 265	700 214	661 895	668 869
率													
埼玉県	8.8	11.0	11.3	8.8	6.4	5.7	6.2	6.9	6.6	5.8	5.5	5.1	5.2
全国	9.3	9.7	10.0	8.5	6.7	6.1	5.9	6.4	6.4	5.7	5.5	5.2	5.3

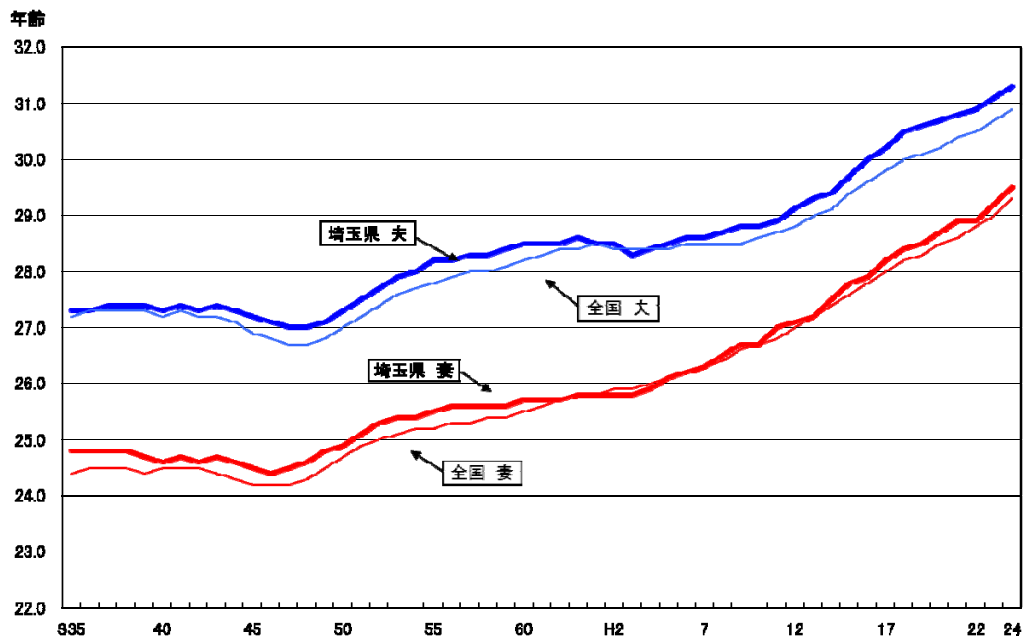


平均初婚年齢は、夫31.3歳、妻29.4歳で、前年と比べると夫、妻ともには0.2歳上昇した。

表－ 2 5 平均初婚年齢の年次推移

		S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	22	23	24
夫	埼玉県	27.3	27.3	27.2	27.3	28.2	28.5	28.5	28.6	29.1	30.2	30.9	31.1	31.3
	全国	27.2	27.2	26.9	27.0	27.8	28.2	28.4	28.5	28.8	29.8	30.5	30.7	30.8
妻	埼玉県	24.8	24.6	24.5	24.9	25.5	25.7	25.8	26.3	27.1	28.2	28.9	29.2	29.4
	全国	24.4	24.5	24.2	24.7	25.2	25.5	25.9	26.3	27.0	28.0	28.8	29.0	29.2

図－25 平均初婚年齢の年次推移(埼玉県・全国)



(8) 離婚

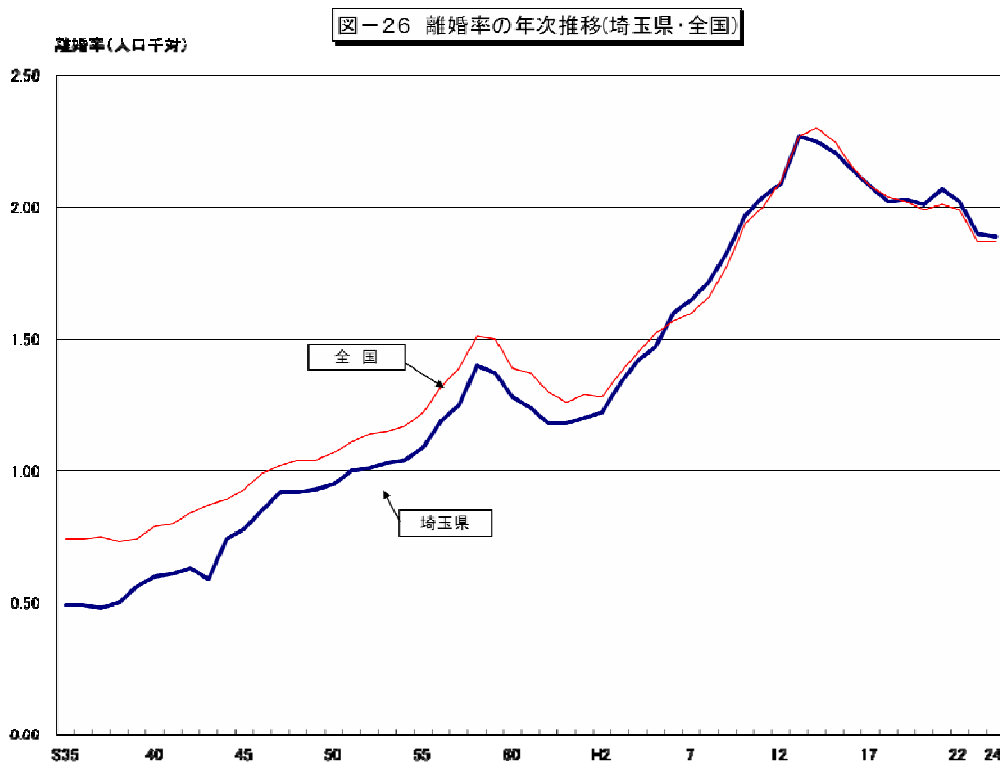
離婚件数は13,434件で、前年の13,547件より113件減少した。

離婚率は、人口千人に対し1.89で前年より0.01ポイント下回った。全国は1.87であった。

離婚率の年次推移をみると、昭和58年以降低下傾向にあったが、平成元年以降上昇に転じた。平成13年をピークに低下に転じ、平成21年は上昇したものの、平成22年以降再び低下傾向にある。

表一 26 離婚件数及び離婚率の年次推移

		S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	22	23	24
数	埼玉県	1 182	1 797	2 990	4 584	5 901	7 494	7 775	11 062	14 368	14 521	14 325	13 547	13 434
	全国	69 410	77 195	95 937	119 135	141 689	166 640	157 608	199 016	264 246	261 917	251 378	235 719	235 406
率	埼玉県	0.49	0.60	0.77	0.95	1.09	1.28	1.22	1.65	2.09	2.08	2.02	1.90	1.89
	全国	0.74	0.79	0.93	1.07	1.22	1.39	1.28	1.60	2.10	2.08	1.99	1.87	1.87



(9) 合計特殊出生率

合計特殊出生率は1.29で、前年の1.28を0.01ポイント上回った。全国は1.41であった。

母の年齢階級別にみると、15～29歳の年齢階級で低下、30～44歳の年齢階級で上昇傾向が見られる。

表－27 合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）

		平成2年	平成7年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
埼玉県	合計	1.50	1.41	1.30	1.24	1.23	1.21	1.20	1.22	1.26	1.28	1.28	1.32	1.28	1.29
	15～19	0.02	0.02	0.02	0.0261	0.0297	0.0276	0.0259	0.0255	0.0234	0.0257	0.0217	0.0200	0.0198	0.0196
	20～24	0.20	0.19	0.17	0.1711	0.1709	0.1645	0.1659	0.1617	0.1545	0.1596	0.1491	0.1504	0.1344	0.1273
	25～29	0.66	0.56	0.45	0.4330	0.4276	0.4134	0.3949	0.4071	0.3974	0.3975	0.3917	0.4075	0.3981	0.3893
	30～34	0.49	0.49	0.46	0.4250	0.4197	0.4148	0.4145	0.4216	0.4444	0.4536	0.4656	0.4693	0.4600	0.4693
	35～39	0.11	0.14	0.17	0.1641	0.1619	0.1670	0.1731	0.1835	0.2042	0.2090	0.2209	0.2322	0.2298	0.2350
	40～44	0.01	0.02	0.02	0.0189	0.0225	0.0241	0.0247	0.0246	0.0302	0.0315	0.0348	0.0404	0.0401	0.0440
	45～49	0.00	0.00	0.00	0.0005	0.0005	0.0006	0.0005	0.0007	0.0010	0.0009	0.0006	0.0010	0.0010	0.0007
全国	合計	1.54	1.42	1.36	1.33	1.32	1.29	1.29	1.26	1.34	1.37	1.37	1.39	1.39	1.41

注 分母に用いた人口は「平成24年10月1日現在推計人口(5歳階級別総人口)」(総務省統計局)である。

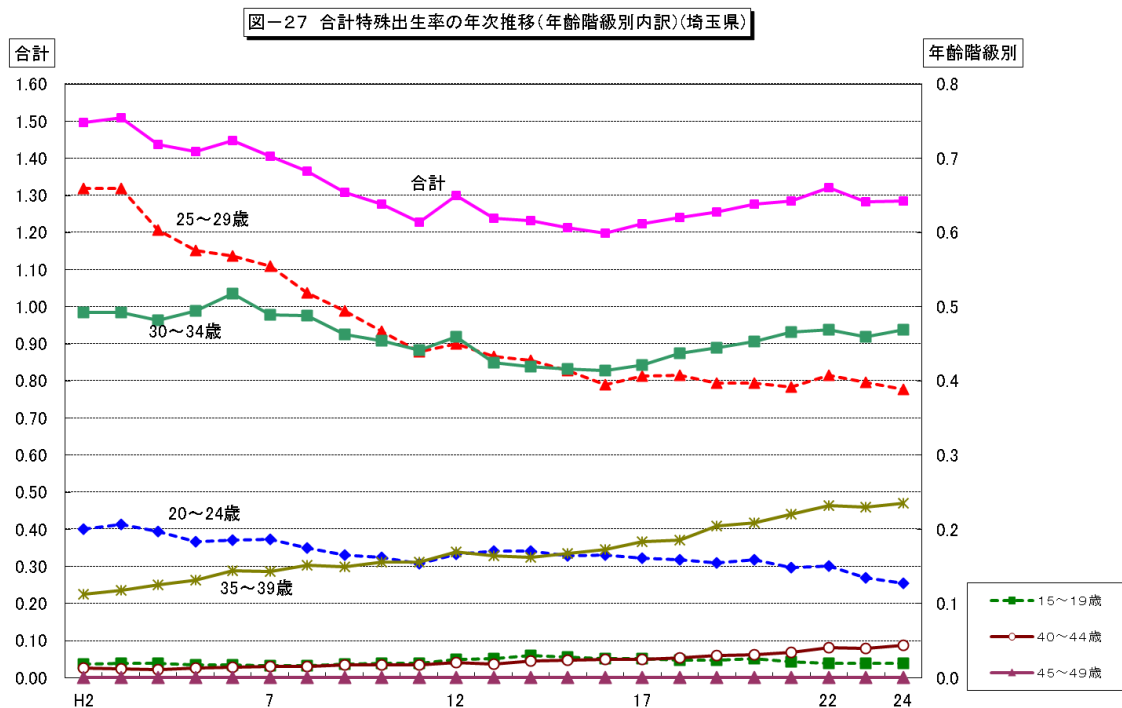


図-28 市町村別合計特殊出生率状況図

全国 1.41
埼玉県 1.29

